

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	令和5年度和泉市信太山丘陵里山自然公園協議会 総会
開催日時	令和5年7月10日（月）15時05分から16時50分まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター1階中集会室
出席者	別紙のとおり
会議の議題	別紙のとおり
会議の要旨	別紙のとおり
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	会議の公開・非公開 : <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開 傍聴人数 : 0人
審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
別紙のとおり	

令和5年度和泉市信太山丘陵里山自然公園協議会 総会
議 事 録

【開催日時】 令和5年7月10日（月）15:05～16:50

【会 場】 和泉市コミュニティセンター1階中集会室

【出席者】 令和5年度和泉市信太山丘陵里山自然公園協議会会員

（和泉市職員を除き各区分50音順）

区分	氏名	職名等
学識経験者	巖 圭介	桃山学院大学社会学部 教授
	藤原 宣夫	大阪公立大学大学院農業研究科 教授
	増田 昇	大阪府立大学 名誉教授
地元町会・自治会	熊田 泰行	
	名倉 克巳	
その他 前和泉市信太山丘陵保全・ 活用検討ワークショップ 会員	田丸 八郎	
	三輪 健一郎	
団体会員	谷口 敏雄	信太の森FANクラブ代表
	梁取 征弘	いずみの国の自然館クラブ代表
一般会員、団体会員	渡辺 憲二	
	森井 豊	
	稲井 佳奈枝	
和泉市職員（機構順） 市側会員	前田 淳	環境産業部環境保全課長
	関 憲司	環境産業部環境保全課 課長補佐
	平田 裕樹	環境産業部環境保全課 自然環境係長
	池田 朋加	環境産業部環境保全課 自然環境係主事
	八野 豊徳	都市デザイン部都市整備室 道路河川担当総括主幹
	加藤 拓斗	都市デザイン部都市整備室 道路河川担当道路G主事
	森下 徹	生涯学習部文化遺産活用課長
	千葉 太朗	生涯学習部文化遺産活用課 課長補佐
	横田 伸二	都市デザイン部都市整備室 公園緑地担当課長
和泉市職員（機構順） 事務局	二田 修志	都市デザイン部都市整備室 公園緑地担当総括主幹
	村地 裕士	都市デザイン部都市整備室 公園緑地担当整備G主査
	野間口 知基	都市デザイン部都市整備室 公園緑地担当緑化推進G主任
	藤原 祥平	都市デザイン部都市整備室 公園緑地担当 緑化推進G主事

【次 第】

1. 開会
 - 1) 会長挨拶
2. 議事
 - 1) 報告事項
 - (1) 令和4年度事業報告
 - (2) 信太5号線及び公園の整備スケジュールについて
 - 2) 協議事項
 - (1) 令和5年度事業等計画
 - (2) 開園後の管理運営について
 - ・管理運営体制について
 - ・植生管理方針について
 - ・湿地の保全について
3. 閉会

【議事録】

1) 報告事項

(1) 令和4年度事業報告

事務局より「資料1・資料2 令和4年度事業報告」を説明し、報告内容に関する意見交換を行った。意見交換の概要は以下の通りである。

<環境保全活動>

- ・1ha程の面積を、延べ550人でっており、公園の全エリア約16haを管理する場合、現在の活動人数の16倍の人数が必要であることを、次年度以降の管理を考えていく際に留意していただきたい。

(2) 信太5号線及び公園の整備スケジュールについて

事務局より「資料3 信太5号線及び公園の整備スケジュールについて」を説明し、報告内容に関する意見交換を行った。意見交換の概要は以下の通りである。

<信太5号線沿いの中高木の植栽について>

- ・植栽するヤマツツジ、モチツツジ、コバノミツバツツジは、一定の遺伝子を保つために、同一流域内あるいは、近くの流域内での苗木を移植することが望ましい。

<サインについて>

- ・公園の趣旨や公園協議会の活動について理解いただくために、どのような看板を作るべきか、また、生物多様性を保全するために、どのような行為制限を案内サインに表記するか、事業計画ミーティング等で議論していただきたい。

<ロープ柵設置>

- ・西側草原の惣ヶ池湿地側の樹林沿いの草原内にウンヌケモドキが生育しているため、園路に沿ってロープ柵を設置していただきたい。
- ・ロープ柵追加の設置の是非については、今後の保全活動ミーティング等で議論していただきたい。

2) 協議事項

(1) 令和5年度事業等計画

事務局より「資料4 令和5年度事業等計画」を説明し、説明内容に関する意見交換を行った。意見交換の概要は以下の通りである。

<植生管理>

- ・新たに手をつける所だけでなく、昨年まで管理してきた所も管理し続けなければならない、植生管理範囲が増えていく。作業を行う人たちと綿密に打合せをして、作業範囲を決めていくことが原則である。
- ・西側草原のこもれば林（疎林）は、令和5年度の低木植栽工事範囲であり、保全活動で作業をする範囲ではないのではないかと。これまでに植え付け作業等を行っているエリアでもあるので、施工の際には、気を付けていただきたい。

<里山講座>

- ・教養講座のようになってしまっており、受講者の定着率が悪い。実際に活動に来てもらえる人の受講を、どのように増やしていくのか考えていただきたい。

<プレイベント>

- ・プレイベントは、公園協議会のメンバーに担っていただけるようお願いしたい。
- ・イベントが盛況になった場合、体験プログラムに参加できず不満が生じるということもあるため、人数制限を設けるか検討していただきたい。
- ・ピザ窯のプログラムは、間伐材の有効活用をしているという趣旨が伝わるようにしていただきたい。他のプログラムについても、公園の趣旨に適した内容か議論しながら、準備を進めていただきたい。

<学校の誘致>

- ・小学校との連携を図る上で、理科担当の先生等に見学をしてもらってはどうか。
- ・8月3日、4日（4日は後日取り止めた）に、教職員を対象に第1期開園区域を見ていただくことを考えている。

(2) 開園後の管理運営について

事務局より「資料5 公民協働による管理運営について（指定管理者の役割（案）」、「資料6 開園後の公園協議会体制について」、「資料7 植生方針の考え方について」、「資料8 湿地の保全について」を説明し、説明内容に関する意見交換を行った。意見交換の概要は以下の通りである。

<湿地の公開>

- ・限定公開とする湿地については、いつどのような対策を実施するのか、具体的に示していただき

たい。この点については継続協議としていただきたい。

- ・保全対策については、配慮事項やしつらえなどについて十分な議論と対策が必要である。

<植生管理>

- ・密に管理をする箇所を何年かけて増やしていくのか、実行部隊の体力に応じて、保全活動ミーティングで検討していただきたい。
- ・マツ枯れやナラ枯れなど倒木の危険がある樹木の伐採を市で実施していることを、植生管理方針に記述していただきたい。
- ・東側草原の間の樹林は、野鳥観察の場所になっているが、計画通り草地になるのであれば、市で樹木を伐採していただかないと、草地に変えていくのは難しい。他に草原化を予定している東側エリアの入口部分や、H湿地近辺のツツジを増やそうとしている樹林地も同様である。
- ・指定管理業務の中で植生管理を行うエリアを拡大することは難しいだろう。初期整備や手作業でできる範囲以外の管理を、市で年間計画を立てて毎年行うことが可能なのかご検討いただきたい。
- ・状況に応じて市による整備工事を行う。予算が付き次第、徐々に進めていく。

<専門家のアドバイスについて>

- ・専門家の方々の参画、例えば、大阪公立大学の平井規央先生等に、信太山の昆虫やヤマトサンショウウオに関してアドバイスをいただけないか。
- ・調査計画書案を提出していただき、正式にアドバイスをいただければよいのではないか。
- ・学識者あるいは自然館クラブの会員として、活動に参加いただくことができるのではないか。

<開園後の公園協議会体制>

- ・指定管理者は実行部隊外ではないので、公園協議会体制の模式図との整合を図っていただきたい。
- ・当面の間は、自然館クラブと FAN クラブ、(仮) パーククラブが並列して存在している体制とする方がよい。
- ・企画運営会議には、(仮) パーククラブの代表者 2~3 人に出席していただけるようにするとよい。
- ・学識者は、アドバイザーなのかコーディネーターなのか、役割が分からない。
- ・協議会の会長の選び方や、企画運営会議や利用調整会議で何をするのかなど、要綱に書いていくとよい。

以上